

松阪市子ども支援研究センターだより

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」TEL 26-1900 FAX 26-1901 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp
松阪教育支援センター「うれしの教室」TEL 42-7374 FAX 42-4568 E-mail: uresino-k@matsusaka.ed.jp

どんでり先生が松阪にやってくる

～～私たちは学級づくりをどうすすめていけばよいのでしょうか。～～

4月5日付朝日新聞に平成27年使用小学校教科書の検定結果公表の記事が載っていました。それに目を通すと、検定についての論評の傍らに「団塊世代の大量退職により、授業に不慣れな若手が増えた」「ベテランと若手の二極化が進み、指導技術の伝承が円滑に行かない」ことに対応する教科書のつくりになっているとのくぐりがありました。

松阪市においても、幼稚園を含め小中学校で世代間の指導技術の円滑な伝承は山積する課題の一つといえましょう。今日、その課題にこえるべく様々な保育教育関係の書籍が出版されています。それらは若い先生に向けていろいろな角度からのメッセージに満ちています。そんな中で、今回は『「ホンネ」が響き合う教室 ～どんでり先生のユーモア詩を通した学級づくり～』（増田修治著 ミネルヴァ書房）を手にとってみました。

今、幼稚園でも小中学校でも子どもたちや保護者に対して「どのように接していくか」が、非常に難しい時代になってきています。ベテランの先生もそうですが、若手の先生だとなおさらです。この本の書き出しは増田さんが開く教育実践研究会に参加している新任の女の先生にスポットが当てられています。



その先生のクラスには生活態度も生活背景もしんどい男児がいます。その子との関わりは決して順調にはいきません。停滞と言うよりは後退するような時期も描かれています。が、その子との関わりの中で、「新任教師が成長していくこと」「失敗から学ぶこと」が増田さんの温かい目線で書かれています。私も読んでいて現場の若手教員の学級づくりをすすめる日々の奮闘を思い起こしました。

後半の「ユーモア詩」の話では、子どもたちがもつ世界に共感し、子どもたちの心に寄り添う実践が描かれています。実践というところごとく小難しい印象を受けますが、増田さんが「子どもをいつくしむ温かいまなざし」で子どもたちの書いてくる世界を見つめている、そんな様子が文章から伝わってきます。多忙な園・学校での勤務の中で私たちはつい「ギスギス」と子どもたちに接してしまっているかもしれません。そうではなく「子どもをいつくしむ温かいまなざし」を常に忘れてはいけないのだと感じさせる文章でした。学級づくりはそういう心持ちですすめていく必要を感じました。

さて、この増田修治さんを、今年度の当センター研修講座【学級づくり 学級経営を講座とワークショップで豊かに学ぶ ～学級づくりの考え方、学級崩壊からの脱却方法など～】（8月22日(金)13:00～）に講師としてお招きいたします。先日再募集をいたしました講座の一つですが、講座タイトルよりずっとハートフルな講座になると思います。とりわけ、若い先生方、日々の学級経営や実践で悩んで見える先生方におすすめの講座です。残席ある限り募集を続けておりますので、受講希望の方は当センターまでお問い合わせください。お待ちしております。

（山本 嘉）

研修講座 追加申込受付中です！

たくさんのお申し込みをいただきありがとうございます。
お申し込みをいただいた研修講座につきまして、受講の可否を各園・校宛に送付させていただきます。それぞれご確認いただき、受講していただきますようお願いいたします。
受講者への FAX は、準備物や駐車場など連絡したいことがある講座のみ送付しております。FAX 送付のない講座もありますのでご了承ください。
なお、準備の都合上、キャンセルや欠席はできるだけ早くご連絡いただきますようお願いいたします。

※ まだ申込をされていない方、追加で申込を希望される方の申込をお待ちしております。各講座の3日前まで受け付けておりますので、電話やセンターHP で受付状況をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

社会科副読本 ～お知らせ～

ホームページ版社会科副読本は、もうご覧になられましたか。今回は、社会科副読本をより多くの方に知っていただくこと、工夫されている所を紹介させていただきます。

ホームページを開いていただくと、「1 わたしたちの住んでいるところ」「2 暮らしをささえるまちではたらく人びと」…「7 わたしたちの住んでいる県」7つの項目(図1)が現れます。学習にしたい章をクリックすると各章の1ページ目が表示されます。次に、1ページ目を下へスクロールすると一番最後に(図2)が現れます。2ページ目以降は、(図3)が現れます。

「〇章もくじ」をクリックすると、その章の構成が分かる各章の1ページ目が表示されます。「サイトマップ」をクリックすると、各章をさらに細分化したページ立が表示されます。



(図1)

「もどる」「つぎへ」をクリックすると、表示ページの前後に移動します。教材を探すときは、「サイトマップ」をクリックすると便利です。

また、表示されたページの文字や写真などにカーソル合わせてみると、が現れます。(指マーク)

そこをクリックすると、さらに詳

しい資料や動画が表示されます。たとえば、第2章では、消防署の訓練の様子や管制ルームの動画が見られます。ぜひ、「わたしたちの松阪市」を打ち込んでいただき、検索ボタンを押して見てください。そして、「お気に入り」に追加していただければと思います。

教育関係書籍について

今年度も教育関係書籍の購入をしています。7月までに12冊の書籍を購入いたしました。ホームページに掲載いたしましたのでご確認ください。また、ご希望の書籍がありましたら、電話やFAX、メールなどで『子ども支援研究センター』までお知らせください。

現在ある書籍の貸し出しもしております。1回の貸し出し期間は2週間です。当センターホームページ「蔵書案内」を参考にして、お問い合わせください。